

# 「伝統構法：日本建築の匠の技」のユネスコ無形文化遺産への登録を求める請願

文部科学大臣 殿

文化庁長官 殿

## 請願趣旨

日本の伝統的な木造建築技術である「伝統構法：日本建築の匠の技」は、日本古来の技術と中国大陸や朝鮮半島から伝来した技術とが融合され、日本の気候風土の中で千年以上にわたり日本人の感性と知恵によって磨き上げられた、職人の卓越した技術です。大工技術だけでなく、木や土などから作られる材料の生産技術や、建築職人が使用する鋸や鉋などの道具を作る技術、建築に関する儀式や慣習などを含めた総体が「伝統構法」であり、どれが欠けても日本の木造建築文化を生きた形で継承していく事はできません。

茶道・華道などの伝統文化や能・歌舞伎などの伝統芸能は、日本の伝統的な木造建築と一体となって発展してきました。また、映画や絵画などにも描かれている日本の伝統的な風景や町並みは、観光資源として多くの外国人観光客を引き寄せています。こうした日本の原風景を支えてきたのが「伝統構法」なのです。

しかし現在、その技術は断絶の危機に瀕しています。技術と技能を併せ持つ職人が減少し、技術の継承や生産システムの維持が困難になったためです。「伝統構法」を現代に生かしながら継承していくことは急務であり、それが実現しなければ千年以上に亘り培われてきた日本の木造建築技術の歴史は途絶えることとなります。

未来に継承すべき「伝統構法」のたぐいえない文化的価値を再評価し、ユネスコ無形文化遺産に登録することを多くの国民が求めています。

## 請願内容

「伝統構法：日本建築の匠の技」のユネスコ無形文化遺産への登録を実現すること。

請願者 伝統木造技術文化遺産準備会  
代表 中村 昌生

## 請願賛同者

氏 名	住 所
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村
	都 道 市 区 府 県 町 村

※署名は自署にて、住所は都道府県からご記入下さい。「同上」は無効になります。

※ご記入いただいた署名は請願書への添付以外の用途には一切使用いたしません。

請願書送付先：伝統木造技術文化遺産準備会  
〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町15 生研ビル内  
Tel: 075-781-3339 Mail: info@dentoh-isan.jp